

350 億円・大会議場整備は中止を！

11 月 29 日、日本共産党市議団が「桜町再開発への大会議場（MICE）整備の問題点」を指摘

熊本市は、民間事業者（九州産交ホールディングス）がすすめる桜町再開発事業に 3000 人規模の大会議場を整備する計画をすすめています。11 月 29 日、「桜町再開発事業における新たな集客施設整備検討委員会」から、「熊本市 MICE 施設整備基本計画（素案）」が答申され、いよいよ整備計画は本格的な段階に入ろうとしています。

しかし、MICE 施設については「知らない」という声が圧倒的です。また 400 億円近い税金投入となるため、市の財政を心配する声も多く、「こんな大会議場はいらない」という声も多数あります。今回、日本共産党市議団は、MICE 整備の問題点を指摘し、事業の中止の申し入れを行いました。

【指摘した問題点】

- ① 市民にまともな説明もせず、意見も聞かず、ハコモノ先にありきですすめている
- ② 情報公開がきわめて不十分
民間事業で、個人情報や理由に総事業費や従前資産など公表しない
- ③ 市負担する事業費が不当に高い
MICE の平均床単価 約 80 万円/㎡
民間の床単価 20 数万円程度/㎡
- ④ 市政史上最大のハコモノで市の財政負担が 400 億円近くと重い



- ⑤ 年間 8.9 億円の維持管理費
- ⑥ 地元建設業者が受注できない
総事業費 400 億円近くの大事業であり、再開発事業で整備するため、地元業者に発注できない
- ⑦ 現状を無視した過大な利用見通しで、無理やり整備を強行

【要望内容】

- 1、徹底した情報公開を行うこと
- 2、市の責任で公聴会を開くこと、市長の発議で自治基本条例に基づく住民投票を行うこと
- 3、桜町再開発への MICE（大会議場）整備は中止すること
- 4、産業文化会館を再開すること
- 5、住民世論と議会で存続させた県民百貨店（当時は岩田屋）の存続の努力をすること

政令市の日本共産党議員団

国へ 2014 年度予算要望

政令市が行う会派別の国への財政要望行動に上野みえこ議員が参加しました。11 月 27 日、衆議院第 1 議員会館会議室に政令市の共産党議員が集まり、党国会議員団（穀田国会対策委員長ほか 6 名）へ要望を届けました。熊本市議団の要望は 21 項目。

【主な要望】国民健康保険の国庫負担引上げ、介護サービス充実、子ども医療費助成拡充、住宅リフォーム助成、ブラック企業対策、立野ダム建設中止、TPP 参加中止・地下水保全、自衛隊弾薬庫の撤去 など

【控室から】 益田牧子

聞く耳持たずの裸の王様？

無名塾主幹の仲代達矢さんの洪く良く通る声が、市庁舎五階の秘書課応接室に響きました。「観客に生の演劇を楽しんでもらうには、千五百人規模でも大きすぎます。次世代の演劇人のためにも、産業文化会館（七百席）の存続を願っています」と。仲代さんは、産文会館の再開を求める会・池田義一代表の要請にこたえての来庁。ところが、熊本市は、「もう解体が決まっており、迷惑千万」と言わなければかりで担当局長が対応。池田代表は、その対応に、「都市の品格が問われる」と。私も「世界に通用する一流の演劇人の話に耳を傾ける度量があつてもいいのではないか」と思います。

産業文化会館の存続を求める署名は 1 万 3 404 人。多くの市民の声は、「もったいない」と存続を求めています。市民の納得と理解を得ずに、産業文化会館の解体は許せません。「聞く耳持たず」の幸山市長の対応は、もはや、市民不在の「裸の王様」状態ではないでしょうか。

日本共産党 市議会だより

発行：日本共産党熊本市議団
ますだ牧子 上野みえこ なすまどか
熊本市手取本町 1-1 議会棟 3 階

NO. 878
2013 年 12 月 8 号
電話 328-2656
FAX 359-5047

メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp
ホーム：http://www.jcp-kumamoto.com/



民間委託・上下水道使用料金など消費税増税転嫁を推進

12 月議会予算の特徴は、市民生活の困窮を反映し、19 億円の生活保護費の増額です。障がい者福祉施設へのスプリンクラー設置助成予算（466 万 9 千円）や来年度の道路舗装打換経費（15 億円）、特別支援学級増設経費（2300 万円）、など安全対策、教育、景気対策に配慮した予算がある一方で、目立つのは、民間委託の推進です。

公的役割を放棄、民間委託や民間移譲へ

公共サービスの民間提案制度により、新たに、浄書管理業務、くまもと森都心プラザ市民サービスコーナーの民間委託予算が提案されています。市立大江保育園は、民間に移譲。熊本市立の中央在宅福祉センター、老人デイサービスセンター、明生園、明飽苑、はなぞの学苑、平成学園は、社会福祉事業団に移譲されます。

城南町図書館・物産館も指定管理者へ委託

新設の城南町城南図書館は、直営でなく、森都心プラザ図書館と同じく紀伊國屋書店・九州総合サービス・パブリックビジネスジャパンが指定管理者に提案されています。来年 10 月 1 日オープンの物産館も指定管理者による管理・運営が提案されています。図書館業務は、儲けの対象でなく、学校、地域との連携が求められており、直営で行うべきです。

市民病院の特別室使用料等、市営バス運賃、上下水道使用料等に、8%の消費税増税転嫁！

年金や生活保護基準の引き下げ等所得の減少で、市民の暮らしは、大変です。その上、来年 4 月から市営バス運賃、市民病院や植木病院の特別室の使用料、診断書などの手数料に消費税増税が転嫁されます。

上下水道料金は、基本料金や従量料金に消費税転嫁が提案されています。水道事業会計は、毎年 20 億円もの黒字会計であり、料金引き下げこそ必要です。

無名塾主幹仲代達矢さん産文会館存続を要請

12 月 3 日、公演のため、熊本市を訪れた無名塾主幹の仲代達矢氏が、来庁。「産業文化会館の存続」を要請していただきました。（写真）

仲代さんは、600 名～800 名のホールの大切さを訴え、「次世代の演劇人のためにも、産業文化館の存続を願っています」と訴えられました。産業文化会館の存続を求める署名は、当日も含め、13,404 人分届けられました。



産文会館解体予算等約20億円の差止め

「住民監査請求」を12月16日、提出予定

花畑公園のムダづかいをただす会では、産業文化会館の取り壊し、2 棟の民間ビル購入約 20 億円の支出の差し止めを求める住民監査請求を 16 日提出予定です。「ならぬものはならぬ」ムダづかいを止めさせる為に、力を合わせましょう。

市議会の要望項目は不履行のまま、取壊しを急ぐ

幸山市長は、12 月議会に、産文会館取壊し業者の請負契約締結を提案しています。市議会は、日本共産党を除く多数派で、産業文化会館取り壊し予算を容認しました。しかし、花畑広場用地購入には、様々な条件「中規模ホールの確保、2 棟民間ビル購入価格の適正化、駐車場との一体化など」がつけられています。

幸山市長は、こうした条件は履行しないまま、産業文化会館取り壊しを急いでいます。